

早春絵手紙教室



絵手紙教室の講師をして下さったのは、森谷先生です。以前、担当して下さいしたのは、もう6年前のことでした。右の写真は、題材の大根を持って、大きめの用紙に先生自らデモンストレーションして下さいの様子です。すすりですった墨で、まず輪郭を描きます。この時、線の太さや細さが同じにならないようにするのがコツです。それによって線に表情が出るからです。そして題材が用紙からはみ出すぐらいに描きます。大根なら大根らしさをとらえて、そこに焦点を合わせるようにします。

去る1月31日(日)の午後2時~徳成寺において、早春絵手紙教室が開かれました。この日は、お天気に恵まれ気持ちのいい日でした。参加者のほとんどが、絵手紙初心者ながら全員が各々の作品を仕上げました。講師の森谷先生から「人柄があらわれるから、下手でいいんです」と励まされて、皆さんのチャレンジ精神に火がつかしました。出来上がった作品を、先生がご用意して下さいした額縁に入れて持ち帰りました。終わってみると、もっともっと描いてみたくなる不思議な魅力が絵手紙にはありました。



この度の題材は、カボチャ・ピーマン・ブロッコリー・マーガレット・ストック・パプリカ・大根などでした。下絵ができたなら、彩色を施します。上手に見えるコツは、乾くと薄くなるので濃いめに塗ります。次にこすらないようにします。



そして余白や塗り残しを生かすことでした。ふさわしい色を見つけて3段階の配色を用いる技も教えて頂きました。



参加者全員の作品が出来上がったところで、森谷先生から講評を頂きました。それぞれが取り組んだ部分を、優しい言葉でほめて下さいました。またもう一度描いてみたくなるのは、きっと先生の優しさに触れるからだと思います。

